ヴ國防相の有力幕僚

田、岡本各部隊は砲兵隊の砲撃さ相俟つて壯烈な拂曉の攻撃に移り、二十六日黎明遂 【吳興二十六日同盟至急報】吳山の山麓より敵が據點ご恃む長興に殺到した長野、

> との話で、右隣総士も恐らくソヴ 見ると真地の支那軍は外國人は簡

中等。専門校程度の

航空學校を新設

長興を占領、城頭高く日章旗を掲げ、将兵は江南の大氣を震撼して高らかに萬歳を

、吳興二十六日同盟至急報】太湖西南岸の要衝長興は今二十六日拂曉陷落した

(上海二十六日同盟至急報)陸軍飛行除大沼大尉機は、廿六日午前九時卅分長興坡頭に日章族の縁へるを確認した

但のオロシロフ元帥の有力条僚

エート政府が中五日キエフ和帝(ニューヨーク廿五日同盟)ニエ人であると云はれる。而してソ

蘇聯製の戦闘機

れば同無特派具は廿四日四聚の日 本追解機のためガスタンクを引ち 拔かれて不時治したソヴェート製 隙間機を銀しく機分した、同機は

ソヴェート機と思はれるが、協談 ら見て、同様は最近に輸入された

士の國籍については支那軍階局で

ロシア語が 肥されてゐる ことか

のことである、菱助機及操縦器に

のスタンク支げを破壊された以外「不時消した附近の野備兵に開いて一般では民間航空機乗員並成の根本

は日を観して語らないが、同機が【東京支北特電】我が関に一方此は未だ確立して

廣徳を反復爆撃

題を今帰

湖西南岸の要衝たる

再歳の聲江南

の大氣を意憾

荒井のお乳 電小山山七三一

十五日上海より茶園八船で香棚に 香帳池亡を解へられてみたが、二二 して唇た上海市投金調的ほごまに 【上海二十五日同盟】支那側スポ

れて上海に踏み上さっていた別民 香作に逃亡した、なは同船には強 一百餘名な各種名を使つて同報で 近は寒さのため屋内で火をたき火 居るが市内ギる所多数の遊騙民が 憲兵的隊と協力して整備に任じて いを生する危険があるので、我が 除では城内の前々幼稚園に 切らなく機構に脅えてをり最

找軍避難民保護

脱して南京防災の死守級 良いれ(上海保護法)また 時期無機に入り光線は早

一年を致して帯 を挟んで我が軍と封縛· 夜に入 戦局目記 中五

山東戦線 黄河蛇橋を爆改 で、この陪落は最早時間の問題

軍事施設に大坂戦を加へて國民 近が初めて長沙を練り機関が、ている、中四日は渡洋部隊の特 全支の空を連日に亘つて制限 空爆戦線・ヤヤ我が行

政府が交通部を移して問もない

の獲逸地であると共 握行して二十六日赴

った東海領船周大使

地石龍を爆撃火で昇漢線上に現 こと精神級変解飛行場を襲つて 場を爆撃して酸の六機を爆破、 東田郷を中心には難した、

こに落友権 延りなく侍が観想機

るから一つ裏を扱いて難しいホー伯林は隠まで知 様に東海氏「散池へで た氣持でゐるのに少

るかで」「母れは東郷

防洪融定の大功勇者だ

ち離へてみ

冷える手足

外政策上の軍策撃送の心脈部と 選を見舞つて徹底的打撃を奥 ひ大波場飛行場。軍事機関と の精成と共にまたら、南京を開時には渡洋将転費が〇〇航空廠 御動を興へたが、廿五日午後三

作は耳を巡んでゐるのは例の逃 ど最低はいより、ほくなって来

たが州三日來青島方面から空の

1二十五日午後一時正太椒平定果

が陸軍航空部院領非大尉の〇〇世

【石宗莊二十六日同盟物派員】

胸本、山田の諸部隊は今阜朝か

浙江戰線太湖南景湖州(

ると河岸にトーチカ銀の戦地 時々これに破撃を加へてゐるな

あるが我が傾仰は

の敵を爆撃

河喜多部隊の い進撃記録

四日朝には蔵二百を確認、百二

今や江南各地におけ

病じの在所

帯下・逆上・腰痛み

依つて武揚されて以來大名の

大名市民感謝

は大名長住のハンガリー気数師も「比近すのと同時に、総道を護職」」が難された。これによると八日午「る治師の東洋の言意に向って十三市民大倉を開催、たほこの大食に「総道の要地平置韓に現はれこれを「河浮多部隊」の難し、「連範の影像」て成本上養養隊員「千名が親居する民族自己、一十五日日本電脳型の 脱に田で、十四日総然として修設」「建了るに至って豚く護種と満たり、全山様、ことより部を西北に移じ、医部して一下五日本電脳型の 脱に田で、十四日総然として修設」「建了るに至って豚く護種の形像」「ことも海差北方十二キョの西班線」「寒されてゐたので大名市民は非常」上りジャンクに乗込んで水路が脱」「跳転してゐた所十九日南岸線を占、早くも必要北方十二キョの西班線」「寒されてゐたので大名市民は非常」上りジャンクに乗込んで水路が脱」「跳転してゐた所十九日南岸線を占、早くも必要北方十二キョの西班線」「寒されてゐたので大名市民は非常」」上名が近年に続い 安は完全に保たれ警離民が心配し、| 岡本部院及び司記多部院は入中・一世路は追旋と化しクリークの水は、| 南路によつて河路多部院は西へ西へ既は完全に保たれ警離民が心配し | 岡本部院及び司記多部院は入日陸の | る鑑売を観てたが、折橋の張南で | ソク二巻と小絵三蛇に探紋・水陸り眩にその三分の一は家に始り浩一 | 上春十六日同盟 | 故州衛上陸の | る鑑売を観てたが、折橋の張南で | ソク二巻と小絵三蛇に探紋・水陸り眩にその三分の一は家に辿り心脈 こをつた「琉球も日本軍に使って保」前金山を去る北方八キャの南瓜濱| 著しく増し、後方との連絡が全く て我が整備及び潜襲の攻撃に大た一後一部を英確江の水流に浮ぶジャ へと向つて十一日午後な時半には

常州の敵

軍の顕歌はやがて常州の天地に響

でもらう

見くも動揺の色濃く息恐れをなし、更に北方

れがため京治療上における酸は息

一次年の悩みから氣も晴ればれと

樂に浸み屆く新研究婦人劑

親門除は廿五日無過か

能を西方に肥迫中、こ 所日竜旗を翻しついる を以て解州はおろか官 都市点自指して我が独 いて最後の大倉城を建

を占據、更に十九日には大迁廻の 可襲戦によって南等領を攻略太御

かくして破竹の勢をもつて進

日午前九時路の背後に上陸、強烈 1二日午後十時には平息鉱北方七 て逃げ路上前兵四百を芋刺り 節を疑惑して遠に敵が軍事大助

> 表彰規定を決

次定 者

同に於て

御棚田上けまする

割は極めて重大たる地位を占め、 民精神機動員運動鐵上に於ける役

は婦人病の無害的な経験と申し上。セニノ蝶の娘な、藤雄な栗作用

以上拜見して、失職年ら湘田様。一時止めた草夫の悪ではなく、

日蠅しい日企送って居ります。本常にウモトノ戦の漸減と願く高り、それに配色がよくなりました。基分も帰れた人をして保護り、それに配色がよくなりました。基分も帰れた人をして保

して居りました處、ふと知つたワニトン球を使ひましてからはのでしたが、恥かしい病気故に打明けかね。毎日暗い私分でな 糖の能みも酷い下り物もなく、月番時の下野館みの心配もなく

冷冷の出る程に振く、根線は積かず勝うした勝みが、永く穣く渡い下り物かして手足は冷え、暦は稀く月祭時には必ず下眺が

進発は南無沙汰致しました。

姿は永い間白色のップ(した

衛張 雅 田 元

合方面から願る期待さる

こらに東京湖を遮蔽し一級に平翌一方改良その他社会教化関係者の図りは更に感で十三日夜には唐家湖 はず、然も之等青少年期情感、地 |成功した。しかしながら追撃の||数化功職者の表形は未だされを行。等力を要する。このあるに語み、今 と観む蘇系殿道の水陸運盗温暖。當の如果を收めつ、あるが、融合。時局の進展に伴び並々その祇寺的一 全世界に三旦

刻々と動

輜能率化 ターリン指令 一十二日回記してい

没、スターリン芸能長はコー玄場の二十五日の報 氮迁

醫 舉 傳 七 木 村

本末を誤らぬ手當

に事府へ能機せしめる 「秘書三名以内を十二月 下十三名を無田して書 日紀元師の住師を下 保方面に従事する者で 局では『社会教化功能

と、たり、各道知事は

「販客た者に對して明 を決定、社会教化事

(また歌や歌の)の内観響中、中衛なな、150岁でリカンロ戦も抑えのです。本ものが婦人病の特長ですから、一般男な精神が連貫質の女性の気分

冷えれば緩にめる それでは治らぬ

か満がって、全年の苦痛となって、治療上の快よさと云ひ豊臭くなっ

型くなく流れ出ない

と思ってある間に、マンル(麻霰

最近はないので、全襲だけの備み、上る質能能が極えず増してのます が下脈編みだけとか以一一竜の病。ばこその姉県で、梅者も快然をおげればだりませ、ってり物だけと。第10た頃式治療が絹帯に届いたれ

語があれば治すず、冷えれば暖める、彼る際一時的にはよい

病院 姉 人 科 使 用 ヴィタミンの新療法有名 姉 人 科 使 用 女性ホルモンと **川の他の種々の在価も止まられ。原用を産せば子供も出来よう。原則に有際原内的の治療を上なければ常丁も能みも停えも、当地脈に有際原内的の治療を上なければ常丁も能みも停えも、水もごかね、冷えも活られる。 婦人病は子宮地県の病私たから子** 上にも死る研究を異人た進非した婦人称として拠める。 かも毎月ぬが、熱の原因はえの原因に直接手賃を加へなければ 、女性のしい美しさも加はるPワセトン球は使用上にも効果

手足腰が含え、ドリ物下腹の痛。止き、段階を振め然も襲れた語。

スリ 下職道運輸能率化

二、有 天體 12年

上重び切った治療の出来ると云う。まで誇る込むのですが、先一執拗層がの在所にダクー果。この関係の部力が千言内部に みの季節に内服要と大い切い所で、左所しく生むサイドミンスリの側

C. 総の出来る。現に像人病薬塩の育っ、日本の一般情に使い、現に像人病薬塩の育っ、日の一般情に対して、現に像人病薬塩の育っ、日の一般情に対して、現は、食べきでも多くの患者に使べる基本のし、のです。 (19 10 年間 10 ても手術ではなくぞつて安全で職 目望ましい第一級婦人がらする 經証たら二日に一回でだ分とか 幸産で一日一回

しそれ場民工明書

子さい、経費は磐石で

朝春

重要でも、松井

在住朝鮮人の帰制移住

やうにだるし、強る の頃の蘇聯の極東政策 人何と思日で 議とう!、お陀佛、イ

に厳徳に飛び市街重要機器及び防

悲痛な声特で

で境を語る

- 田、三木麻部隊、榊原、湖田兩

[上極一六]

拿、野中、小食、比島各

時過ぎ廣徳市はに火災起り目下炎

の土地が存する限り他くまた

無な面特で最近の心境を披布

事務簡捷を圖

て外域通信記者側

日夕刻南京におい ■ 離介石は廿五 【上傳 一十五日间

外國通信記者團に か米だ首都から遠く隔てて心を元字する監督である。日本

暗恩の機構内のソヴェートの提

のもらるが、支索空車の新たなのもらるが、支索空車の新たないで組から降ろされたも

・ 一 一 子で 」 て 音ら ・ 一 元 子で 」 で 人 部 隊) カー 元 子 で (外 人 部 隊) カー 元 分 で きょう

紐育タイムスの報道

をあげて來たが、今度は更に総合的に大政芸を

南總書は熊政一新について潜任以來治々と効果。就いて協議を重ね、事務領捷を聞ることとなっ 本府事務取扱規程を改正 て微来總査、總監の決裁を仰いでゐたものよう た、この結果により本府事務取扱規程を改正し

3たい協会が一局で穏々研究打合セ中であったが一も中等圏校と同様に取扱い、魔つ 定、先づ明年度よりその第一段階一焼けないこと、繁成費は一人當りこのほと漸くその具種業大精を決して空幕後一般の職業に就職するを として全国に中等事校程度の航空一五ヶ年間一萬五千四万至二萬四と の総数一千萬四は既に大蔵常局 して操絵・種願を二分せしめの一振的計畫で、近い特本には一縣一 金新段、中等程度のものには夫 **現行場を附設することになり、** 間少年航空士を攻成せんとする野田ヶ年計20下に毎年三千名の民 兵役上一種の特典を駆棄するこの権権の策略を重要するこ し卒業生は年前三千名とする、 と等々であつて、韓間明年度より

| 間続空の軍事続空への積極的協力 | 世界の動きは機束のなな検主義が標榜されて居り、我が民 が、軍中左の如く路つた [推測電話] 新任駐閥大使東施茂 急盗士で赴任の途につき、二十七

グナイジニ號に乗船ドイツに向ふ 日午前九時神戸解機のドイツ汽船

アラスカヘ

ソグ(八四〇トソ)は信貨機六

地支黄

央は樂觀す

日衣の勇士凱旋

みを包圍殲滅

別の手柄語を聴く 関の手柄語を聴く したップリと性れて森本部隊の「ごろ」。 「記号」と使れて森本部隊の「ごろ」。 里中の騒楽莊部落、短い秋の勝一年の難行事の途、檢決を去る約一年の難行事の途、檢決を去る約一年の 松田 S中県殿、一つ御頭 が 道ひつ、進むうち、居候兵から疏っ 一番面自かつたのは熱情村の山で 一番面自かつたのは熱情村の山で

卸小賣京城本町に

争ったので一番困つたのは水で S中尉 私の方は大王回戦

森本部隊S中尉 それ経て!」といふ沈合一

製造らしいのが起き出してノコノ | たが兵隊共はもう抵抗の魅力なも と炊事の仕頭にからつた、時は一く方往左往、その間にパタくしと 財長連に天から降つた日本軍とい も忘れて逃げ仕度だ、天春の中の んといっても山岳地震でいるもな から食糧には職分機みました、何

ってゐる歌人形を突くやちに片 の號合で山をかけ飾りても、 もう機能がなく、ポンヤリ

森本部隊十月廿七日上帝兵 名譽の戦死者

シンイマットを完成した。

・大阪市大仁の今神化型 ・大阪市大仁の今神化型 ・大阪市大仁の今神化型

込、血液部化配法とる 大阪市大仁の今沖化學

頭痛に

- その英類を厚く地かと共にこの四 ・ 十一名では同地の顔を緊逃した

眠れ

だなる前兆です。 会に様で、やがて帰還血 になる前兆です。

るから気分が極くなり

耳鳴る

血管が摩擦し、その音が に下耳鳴りが起る。 いて耳鳴りが起る。 いできないのも類柄脈 できない的も類柄脈

非督教のことは 京城新生命に 近手指四対略選手さい、翌川県 高著一種に依名荷生学他的その

熱血譜 月別を回覧 下さい

十月月

属
て
る
ん

して周が挺る。

四日分の妻糕に十日間の歌園です

一審ごも死刑の殘虚事件

向等法院で事實審理

士は今はこれまでと 要機を楯に拳銃を以



強の容疑で被害者をも智値、

満鐵事務所の

金庫の中の俸給

拓勧省からこの程正式に總督府に 一日の各省本官會議の申し合せが就民衆に範を示さうといふ去る十

献金音

机構官吏は郷光してこれを除し一・主通派を貸した

原平を誇く投紙と雖も非常時間の | 史は年投版を孵化することにとい

務總監から

一萬餘圓消える

観光氏の含音完州郡派原面館教

ホワヰトフロックで

耐

豫約募集

自ガマロア

(イトークーテイル) 枚六全 ノ脇軍の史國

-SLYFLOS

ギヤラリーにて)

陳列會

國の花

(Columbia)

H

※別電話』 全州高砂町の大地主」の自興車が続きれる有様に早くも

狂言の疑ひもある

組の北漢に腹はれる種を強かさ 都革御面俗籍機大時に於てコ 前具捜査に潜手する一方狂音

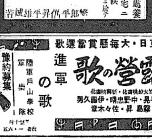






小野經日社長

世 京 世 京 月二十六日 城 尼石野野 葬 儀



最の答案 化面映真が、化声映色大竹杉 男久藤伊・明忠野中・見平松 章木々佐・昇 島黎

別問袋を 関数 の

日本青年歌

近衛文 鷹閣下 近衛文 鷹閣下

遊戲頭原支廳

音車後 「新様の1十八年上後| 新西四和町高野工別と「成子 第那様の1十八年上後| 新西四和町高野工別と「成子 でする。」

電話本局②二五六四番

の場合は同日午前八時十分ラチ

ブセンペン 愛國黃海號

全國防火デー

火災の振涛自積頼は住宅だけでも ので角開節官職、関民精神総員員【東京電話】昭和十二年中の金國 名と云よ贈くべき数に上つてある 五千三百九十一萬一千餘回の耳頓中央聯盟子の他諸官衛、公私團體 大國民運動を起す 等協力の下に来る十二月一日「全

近々民の熟識をこめた愛國機

(神年の分) 脱納者(

相叶本日午前三時五十五分 自宅ニ 太郎儀 豫而病氣 最養中ノ 處養

春軍 久

着々と質を結ぶ

血と汗の結晶、二百五十萬圓で

六十二萬三千四百二十六四六十一

献納頓に上り既に

二合、装饰自動車一桶、糸射線的外屬测車三輛、小空車砲音桶

島官民の赤誠

間では府内各官公私立學校に校

会と催し

遙々滿洲から 萬引稼ぎに

《憲法、総會社签山党店から大邱西

河原に墜落 火樂自動車 来助の奥さん

く且つ確かです

一般の火薬は酢酸的にも爆酸

月本店時代からの際に御愛願を、不 **、おいつくじみ下さいますやう、 ひながち私へも下じ脚はりまじて、末**

生實,有澤軍曹四勇士...5km. 200世第48年8886 野中少佐、藤 有澤軍曹四勇士この指す

る。時間側頭腿背局では単生・ 主能の意観希望もあるので本所が

用掛宛送付し來つたので同御用掛一海軍へ戦納された愛國現行機は多 して設知事から總督府東郷海軍司これにより今次事變以來鮮内から は直ちに舩納の手鎖を執った。倘一部で九機に達した

関地騒の部落に振る敵軍のため藤原中帯先づ食儀、又一罪はタン

勇士遂に戦死

外に廿五日同法院では一本件記 京城高等法院に上告中のところ

とは既報の通りであるが、更

|精査-|路殿の脱揚材料を綜合||イションを選してゐる

七一関後第一一般原玉の見は一一に 京首した、二度すでも 死罪をしか

賞告せられた関

◆飲後さんぢ5~は町内の子は

か弱い婦人の閲覧に少しも高ら れ、新らしい頭痛のお薬です **今迄の頭痛楽のやうに服**

が錠

| 復理を来る十二月二日開始する] | 熱談に来春三月まで傾けられ

著なる事由あると思むる故に事質

質の問題あるとを駆けしむべき郷」た。降つても照つても朝子・孝袞するに原判決には重大なも事」こん始め七人の趣言ん造が

婦人の頭痛

各菜店にあり四十銭。一届

商業登記公告

島霧★男久藤伊★晃平松

目まひ、月經痛に

はらく、に切った上油をかけ

京城に萬引に來た半局人が京城。路署では犯人援盗に努むる一方合 平北生れの前科者 見低店並に自職車沿場には完全な

国民精神權務員 大演說會 特里尼尔女育 歌的主任

1の以、単値も出来ましたのでいよ

施鍵設備をなすと共に監視人を批

替美 松 井 要手町一ノー三六(欠鶴跡)

本書壇の大家、松林桂月先生が静拝 を開はりました桂月の名番、名舞七

御挟

拶

瀬を母| 以来に指駆せられ克く上官の命に。世里、十月二十四日松岡打北方高。 | 像の突撃に勝してほ解験地に数数

地(山西省にして石家莊と太原と)の精弾を命中させて三名の版を作

難な部隊正面に於て頑強に抵抗す

る師の進路を聞つため森本部隊が「友軍の攻撃に多人の貢献をしたの

勇者の遺骨

大田驛頭でお通夜

し名響の真顔をした自衣の男士

工具名は世六日午前三時四十九

もので、約二千の敵が松満村北方

敵を攻撃一と前せないならの

〇隊に息つく戦争なく追戦を携行

富民雅を執行されるほずであるが、故命山一等兵戦死當時の隊長であつ、

門合ったのでした。大切な仰子

山西線の華、金山擲弾筒手

喜多隊長の便り

『黄海の大捷』

頃け第月半ば過ぎ我が帝國の艦「氏で海軍部継続『有終』九月號で一

一御心をぞ偲ばれる

一般の観光者の遺帯だけがや、

間等のボーナスも二、三日中に渡

◎木準度照ラシャオーバ(新

御知らせてることでせらが取取

日達しいでは戦地に居る中陸か、社に、原知に得る下さる結合権もましての

律も下する機御嫌び致します。

大同江を艦出して『の深き因縁から

南浦商議教科書挿入方怨請

| 東移機 | 一番山 横造 風で ーケ

遭難漁船の乗組員

動物 窓 用黒 紺厚ラシャオーバ 洋ネ子裏付支長

の冷却収照ヤシヤオー

馬鹿な六名

化體を發掘

一日も世が广凱羅の異など

事になっれんことを御所り致し 際に向いてかが勝河や海標

『軍隊に受ける重数』と歌し軍撃 教徒』は作曲して過ぎ行くを主い 教師が指揮自口襲音光が執邦して ずさのまとになったと記憶してのさ中に るる、 海軍へ 卸下腸になったと記憶して 版化 者は其後火郷 にし負除者は

特務少時期日日確吉氏が執乳して

一平定占領

を左の加く語る

|日平遅の長端部隊に遺骨を薫||部下と共に北支に居りましたが、||安明ヶ取つて禍人に隣はせた軍費| 次都です。信遣骨心何時御手許に

の散集は翌二十七日戦友に渡られ一後方との支通は弾撃と発食の連教

手一杯の一般を 日の疾跡に乗じて整堀し或る一部

今要第〇〇師團に神任になりまし、後輩し其主定州署で取調べ中 紙を差上げることが出来る様になり

早速街通知印上けるはずでしたが ・ 特別属で叫呼してあるのを定数 | の装作技術視点動の乗組は三名はたっと、

● 商・級黒組ベロアーラシャオー

です、何「印・梅」と『現壁的广治外法補院線』和色を造版……だこと繁春 起師事能だ」の裏のたまりにきくポートスは例「京敷側に見り配送の限電船

悲しき合同告別式

水換に避却したこと

● 株高級指降スコッチオーバ (新大子

ける晶位行情は種を間に影響し

句」普通機械は見量の核外

皇軍を慰問

皇軍に贈る

大衆向黑ラシヤモデリコー

●流行背廣服三ッ揃(スコッチ地)

磁卵で名誉の戦闘を負ふた鈴木部【大邱】北支の聖戦に戦闘中不幸

般養に踏る

日午後四時廿一分大邱鹽潛勇士達

羅南近在に蔓つた奇病はこれ

れた陳列窓破りの怪盗事件、廿四一五町)一個を掴んで能騰の街に消

||皓計店ショーウインドの前子を||た居田により南部者で犯人捜査中||【平浪】北支に斡載し武破を卸

えた島打暦労働者風の曲者があつ

健氣にも起ち上る

銃後の大和撫子

赤誠の會員一萬人を擁して

釜山國婦の發會式

八日夜孟山郡鎮泉面徐光俊方を

犯入漸く逮捕

【磐度曲】また前の繁華像に現は一致り十八金側腕を除針(優擦六十

南浦に背口の怪盗

柱の英型は大田大塚精模築管所に を除され、鈴木部隊の英原OO柱

英藝は二十六日午後九時廿

| ちに映解病院に入る| | 統治官民感謝の田郷へ全久に

白衣の勇士

共に釜山血消所の富人技手を指き 州統稱南署では眞相を調査すると 在發生数は、種南六十七頭、 "豚公受難時代~現出

病理を探究中のところ大體脈ペスーく流洲方面から流れ込んだものと にかけて解析近在の飼育展が積々 ころ全く既企妥義時代とある。現 他の後拠を得て元高一十二百人の[縣的] まる十月末ころから本月 これが防疫につとめてなりこのと しるたが道内後者に家を申心に各国 みられなほこの弱級は朝鮮では初 三頭、獨議三頭でこれが便集系統。を現金に替って上首六十八周を追

朝鮮蠶絲慶南支部

【釜山】時局重大の折から結成さ | に始まって県居派拜、熊立宏貞長 | 日は堀川重砲艦隊長、朝鮮復兵隊、

定し、支部長山本府針夫人の校選、「隊長」府育議員ら多数列磨し、愛山本府卦の校選についで合則を決一司令部制官籍田少佐、長濱遊兵分

就離脱電披露の後、萬歳を三唱し

くま飛行面から乗れ込んだものと。郷チョッキの製作に努め、房取時について調査を辿めてゐるが認らしたので直に生差報機の素敵組み開 鏡城一有志によって武総十七貫と飲納護

干七十二着を献納

●魔器無無紺厚サージ背廣三ッ揃服 ●練士向背度服ニーッ揃 (スコッチ地) ル背廣三ッ楠服 最上品 十四圓五十餘 B品 八剛九十世

鎭咳祛痰剤

穀穀以来二十有餘年、宮に第一位の穀價を博してゐる

理想的と称せらると特性は (1)作用温和なること

(2) 無退性なること (3) 気味住食にて服用し (4) 連用するも勝甸、聯 吐、消化器時間その 他景むべき副作用の なべと

SANKYO 共 (鼠 明 雋 建 是)

(5) 奏数態語なること等 々であります。 肋膜炎、肺炎、肺

蚁胃、氣管枝炎、 結核等にて咳嗽喀 瘻ある場合並に百 日咳に推奨される

末 30瓦人 金 畑也 観 30人 金 42号 瀬 100年人 金 85銭 別に大社人各属あり 源•鄒三共株式會社

OYNIAZ OYNIAZ OYNIAZ OYNIAZ OYNIAZ OYNIAZ OYNIAZ









大連自 期車技術員養成所 ⑤銃後の護りを強化するため

⑥ 浮期を開始す至急申込め 支店 京城府國路 **耐脏光化**門 授(3)1580・1338番

状の二、一倍の長さの竹の様

聞だって細いるから水に存んす

の上が聲の上に、上型において、

署を解に巧妙な手がに彼那の各級

よりにも何かったため遅い期間に 関の後をおすることを辿り上し といっよりも実験の返還力があく続の食料な利服で後のが温かっ

だまり夫婦

東洋平和の道

鈴木重吉監督北支へ

娘の親達は獨身反對の運動

った所が諦め切れぬのはココナ

投傷ものと決して云なされるものではないという単由で獨身者反對の挑議を大概大原に耽憾さらる、このために関す者很勢部が藉成され、関身者は夢や結集寺との他身器=のものを築ひ、 ンガリーでは関す者に親をかけると競技されたので関す者たちの間には反對の氣態が起って

須み者側の恥きは若姫道館の蛇の母報だちから起まれてふる。この方の随館は濁み者供染

集到原事が本格的館民記録映画と「中の『鬼洋事和の道』は先づ丘子

本、大同、保定、経道 僧の風景

数千年の機能を設っその文化の組 建設されて行く樹

れたものである。日本の戦いを収

理想の夫はこんなも

んた人だららか、最近ジニネラル

田

科學應用の手品種明 ハオモシロイソー

財団党を送るのもよろしい。贈

は遺族に保险金の全部が支持はれ

「大き組つて「真郷」ったいか方法も一つりもで、、 「後を扱つて「真郷」ったいか方法も一つりもで、 前島保険と惣郷が、後の心悲しは、日常 勇士のために、前島保険と惣郷す

に相違ないが、それだけの同情、

気持で指先を膨しますと、不息臓して、半板で包みを拵へて中に水をがら、そうつと水に敷せるやうな) げるに決まつてゐますが、かうし から、そうつと水に敷せるすうな

た蝋燭のとけたの

観はどんなものでも燃えるか、こ

何れも美しい眞心の疑惑である。て見ては如何なものであららか。

今からでも超くはない。田福者

ムーア施は明年八月一日上り東京

北支那。歸特殊性 まだ、いくらか物の入る飲地があ 等との間には空隙があるので、 心主すが、特理學上木の分子と 林を すべらせ るやうにして、 を並べと入れておいて、これに を離かに落すと、敷枝の郷質を して、水が上ほどあつくならない

新 膜以西 の地は蒙古人の領土と 版関がより廣大ではあつたが西藤 もつとも歐難巴まで演まつた元の

めから成績近倉塚地方に整伏して

方譜の前代の益も中原に入ったと を領有し之よりも偉大であったし

過逆の国旗をマークに溶け、ヒッ 情熱への反抗 米國で昨年要許知だ

度に枯渇した明の郷に乗じて、愛

(興意)地方に入つて本操を作り、

つた大衆小説『维々

島部保次郎監督作品 『聞ふつい

東京・日本橋・滙一、東京韓寅食▲郭濱(十一月十日號)四十段、

日活多歌川撮影所の根岸所長は今 この問題多の祖籍が克服し郷へ日 日活現代劇十四本 ●解(十一月號)三十段 朱京。 韓田。 旭町七、大塘研究社(大陸研究)

東京・神田・司町一ノ四・解剖時への一番の時代(十二月號)ニール。

ツド銀優県の職権グレース | 員の苦雨と共に最近撮影所の全事

括野生の食いを いっちで

世か置り玉を切ん町と云よ縁ば度さられる!! **來月簽豫約**

田伍是」「おめでとう派

よ映画へ出演

品、衣笠盛香了一人肌要看」(好 **A**7 **O**1

東京・神田・鎌倉町、時ぶ面加州東京・神田・鎌倉町、時ぶ面加州 ▲財の教 (十一月號) 東京・神田

を受売に請求さられば真に贈呈する。 ・ は、 解紙なる A O の解説 使用法等は ・ は、 解紙なる A O の解説 使用法等は ・ 場にてし而かる無危險副作用皆無で有る ・ は、 の と に 財 を が し で め に か と が か と 無 危險 副 作 用 皆無 で 有 る

安加進号 發 变

AO 出来た獨特の南製物なれば其の使用には即ち有害無益なるアレルゲンのみで、一世ず、必要不可執のイムノゲンのみで、自来た獨特の南製物なれば其の使用にない。 而も効果は出著である。 A に改良を加く物質すらる」。 のに改良を加く製剤等に脱密の動物質験を 研究員に使り年々研究に研究を重ね改良 経で始めて發質すらる」。

普及版金五拾錢中形(紫雜) 金八拾五錢

行所・・ライオン歯唇

◎本年は別に革装紙ポケット型の 名古斯市西區與名斯四丁目(物數日原名古原一九三〇九百)大阪 市東 孫博勞斯三丁目(照幹日際大、坂二、近)東京 市本房區 航機一丁目(振光日階県・中八八三、三、東京 市本房區 航機一丁目(振光日階県・中八八三、三、

新装を凝して昭和十二年版5~~出來!(智慧)

ライオン・ダイヤリーを發環 は 田 田 銭一 オフセット印刷

は統訂の活生時点非

Met大阪六〇七一番・ヤマト解製銃所



以復七九九石小変六五以▲ 玄米一一、七一七以白米 玄米一一、七一七以白米 一寸高ナグレの商駅であっぱに資應した連中の手筒に地筋の質符け見送りと政 0000000 してゐるのと學家は一巡遊地の賢物としては依然 0000000 接句として品薄の方であ ■ を対手にして貿易開助が一生預命 抽 対上大助がヒコイと後を損払つ の へザクリ切り込んだ、延衛に小原 所は菅井の家を裏、瀬方、第一此 同行を希ふ剣術狂

一龍齋貞丈演

木

俣 茂 搦 苗

那一次の最大を急行られた事でもる。 ないまったいち、はおい

地は高唱へ る玄人筋が多い

「と息積穏となった」 がら脚肢は用来ませんゆき、何分 供を仰着対けられたい、高井の安加へて楽劇の駄洞に用場 は連ちモケ助かりません、後記な「小『イヤさら仰』には、連邦はいた。 | 「「はてきないた」、『独山戦争とと 「東につた側」 | 「八十、著し墓が、上の修手」 | 「は動り食す」 | 「は動り食す」 | 「は動り食す」 う負りにと、長このに別し、「魔功、確り女せ」大はよ終済に指領安から「大「魔功、確り女せ」と、一氏、一大は、大神語らずの市「ドウと打倒れた、一正米」、天井語らずの市「ドウと打倒れた、 川正米市况 太も飛込んで来て、下山長十郎を一の筒井号の東わをしたければなら

後々の事はお頭ひ申します。

ヘバタリと倒れて了ひました。一種公置さまず方法少しも希安むご と云ふかと思いと國島劇助、共一社を数す位の事に複媒の者一同へ

しは又どろにでも言う、此の首の東

いでも食いものを、私が少しも早」り」

た」と大層思展版明の死を振っま く小原太に仇を討たせたいと思っ一大で其れ程までに仰せ下さるないでも覚いものを、私が少しも早」り、 った高政ない最勝を言せて「つ たばかりに、共方の事を訪れて居」師同行我して宜しいが、何に教せ

一寸印幾家の方に何つて見やり」 ソコで简非家の親類を嬲らず呼

誤へ出る、大助、小原本の兩人を一たのだから、さらでも致きたけれ 田中良兵衛宅を調べて見ると一斉 假牢へ入れて置いて、代官が受々 ソコで早速此の速しを代官所へ は常人も気が踏みますまい何分出 より貨館の御殿で観の仇討も出来 んで其の意中を聞いて見ると「西

Liso

の浮いた刀と筒井宏代々の系陽が

兵衛を切つたのは酸討をしたとし、相巡ない、シテ見れば小原太が長 で是が動かすべからざる歌博とな中の家にある道理がない、ソコ 門を討つて、系聞を踏んだものに あらはれた、筒井家の飛刷が印 つて、正しく田中長兵衛が恰非右 小「時に付上先生、拙着質所にお取が出來た。 大「共は最と容易い事、承知教しるる間に伽称古を頼ひ度い」 一者武闘未熟ゆる質所の御供致して 朝みがある。外ではござらんが出 大「共れではお仲を申そう」と叙に宜しくお照申します」といふ、

(サカト)

し正常であるといふので、是は切一の義を結びたいと思ふが如何」

の他切られ様で事が納まりました

小「其は顎つてもない率ひ、然ら た、就て今日より御身と拙者兄弟

阿井小原太一宗の裏びは一方で

小『鬼才と完全、世所の御殿で私 南人が兄弟の魔を描び、仇婦の名 小『鬼才と完全、世所の御殿で私 南人が兄弟の魔を描び、仇婦の名 「生態の先戦が資本・宋の原則・義 に仕願れたる衛井行を出立故・よ が手に思って」した。 大切が費用立をしやうといふ時に | 大「左枕のとれば……」







アルス受信器ニナニアコリ 日マンダー商場を記さ回り出す。マンダー商場の市町内三ナユニアースの深美商店 長期月烟膏リ

日本農業研究會編

日本農業年報「第十輯」

設定 料假十二

地



松

梢

風著

價 定 B上海 u u u 大大全域的八流面。 大大全域的八流面。 大大全域的八流面。 大大全域的八流面。 大大全域的八流面。 大大全域的八流面。 大大全域的八流面。 大大全域的八流面。 大大全域的八流面。 大大 ピンネス 尹川 朝月 地看六日丁三可服數原田神市京宗 部 記 日 局 報 時 道 辍 母三二四只要用 老九〇〇八- 別八〇〇八月丁三日

造 社

 髙麗之部

南 著

(最新刊) 辨論 定價七四五十錢、滿鮮六十二段衛州上製八七二頁、內地送針三十處

節哲の成果と政界の推移 第四部、監禁 領制下に於ける段材 第三部、第七十回 **基一、** 軍製農政日誌 第二、第七

第一部、土山問題 第二部、迎班時別尚

すにのそ國ぬて普 名解謎の・桁は通 漫いを國支外割の 談て見民那れ切常 !!示事性!なれ識

(最新刊)

俳 十二月號 IJ

明和十二年度自撰句等 の漢詩・漢文の翻譯――中野重 の漢詩・漢文の翻譯――中野重 の漢詩・漢文の翻譯――中野重 が一様材字師 百餘人一千餘句 排壇代 表作家 の家作 想 感 郎三清宅三 三 京 東

地文日上井

知りホ

高い床り し色 さ白 | (本学・県山麓) | (本学・川道) |

に後り剃ケヒ

にみ嗜

医前勤出 へりきる男性美

漲 శ 家二版 K#

に粧化淡

油性物植級清

的な高級洗料ならぬ、代表に、なくては

の健康と整容の健康と整容



心して、眞に御家庭で役立ち、保存やに此の際です。御歳暮なども充分 利く◎ミツワ石鹼にいたしませう

ショックでは続き

MM V V

本舗東京・兩國○九見屋商店

御奮戦の久邇宮殿下

進れた民権は遠に抗することもな

淺間少將凱旋

前八時入艦のワランス汽船でヨー 陝西綏街主任楊虎城は二十六日千

工作に汲々

泰安驛を爆撃

して慢を買ってるたがわが取の場

領下にある上海文が剛各機関に對 【上海二十六日同盟】我が軍のは 日本の検閲を實施

要とすることに決められた 信に對しても今後日本の検問を必 たは 野神局及び 海底板による 強受 東、軍事施設などを提解してゐる

無電、放送等にも

日上り係官が出向よ鎌定である。

北緯五十度國境

【ロンドン廿六日同版】フランス

守備に斷乎たる態度

「長藤協康を攻離し飛行場、権利・務部」多水し多大の燃果を攻めた 「民津二十六日同盟」わか加麗部「神郷の下に原天孫を得して進日・置」ケ州軍及び寂路に泰く合中これを 助に對しても日本側より言吏、徽潔は可難に禁御中の四 電報局関語無常記及ので選出放送 (東津二十六日同盟」わか加麗部「神郷落を城。(東津と内閣・大学東部)

今や完全に我方に歸

雕脱した今日、速かに同市に河南省自治政権を樹立すべしといふに各代表の意見一致し直に準備に着手し二十七【磁縣二十六日同盟特派員雜】二十五日彰徳において各市民代表民衆大會開催の結果、南京政府の薫政より完全に

けふ彰徳に輝く樹立式擧行

國民政府より離脱

日午後二時より同市に河南省自治政府樹立式並に政府主席推載式を舉行することに決定した

融資委員會をして取的援助をなさ

た、その目的としてあげられる めるに決定したことが明かとな

方を勘奨せしめること、なった定、管下工場主をしてこれが實行

○以産衛生に関する事項(一)

專賣局辭令(廿五日治)

等に関する指導方針を左の如く決

ため労働力の維持可進、災武防止 における生産力の増加及び持久を

を 全美術防止に関する事項 (一) 不表練工に對し類加の指 (一) 不表練工に對し類加の指 (一) 工場の情報であるまたについて (日) 領権を取ること (二) 工場の情報であること

川東名のではないかと思ふ路職 川東名のではないが発生に乗いて 一年前に比較すれば前途は明 が、大種担いて 一年前に比較すれば前途は明 がしたやらだ、ブラツセル食

最狀態低下、後常者加修要なべか 煙薬が機械的に行はれ姿動者の健 東省品工場において相對是時間の

ること (二) 休日は少くとも様 村に長時間労働を必要とする場 行においても一日就業時間は二 行においても一日就業時間は二

西大戦は完全に設けることが、 の質問を配んに受けるが、歐 に就き次音の如く語る はに就き次音の如く語る はに就き次音の如く語る

はマラリヤ州の献集の メリカ大使ロバート・ーク北六日同盟』ロン

工業及び鐵業に第十る必要な

て無難品工場に對しては勢働力指導方針、今天再變に際し

か担こかも知れない、連盟の発示をつけるに親て第三国の介入を

rらこと、計して日本としては協力することも歌へられる は之と提携して行くことは十分歌へてよい。またその政権を顕化

行っている。併しながら特米形勢の變化によっては或はその必要

宣戦布告と第三國
今回の事題は変那民教を

のは管護で、第二て重量は今年の単位としては中々折れて来るの単位としては中々折れて来るので、所介石の本のなが、所介石の本の本のなが、所介石の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の 私は関民政府が川服して外交會見を行ひ左の如く語つた

こならの論我國としてもあくすで長期に亘る監督を以つて能感の、 若上反省の質を示さず、阿婁さでも長期派院を報けるとい

交成の手を伸ばして来れば、我国としてもそれに

さいけないといふことはない。南京政府が反省の質を示して

ての目的で、この建前は今日も依然變りはない、故に北支でも上

言切り騙してその終局を整へることは用来ない、即ち國民政

是支限支の調整により磨壊共同で原洋平和を樹立するといふのが

東事上一層有利に働く惧れのあることは十分等へて僅かねばなる

うかといふことが残ってあるやうだ、漢目まで行かわばならぬ 戦局の見透し、素人の側面膜に過ぎないが軍事行

としては之で一段落といふところでこれからは南京を受行くか

の介入ら推奨するといふのではない、今日の所では未だ何損からから入ら推奨するといふのではない、然し流域交渉を開くまでのほんの構造し難度の都三層等ミザ、爬きで直径交渉を積げるといふ方畝は今日と雖も何夢襲

首 衛近

自念を吐露し力場を眺象を異へた。

るそのうちに北支にも何等かの政治經療機構が出来るとにならら

九ケ國條約問題かり國係報は精高影響といふ

変からは類りに政治經濟の個別を寄まして欲しいといつて来であ 変からは類りに政治經濟の個別を寄まして欲しいといつて来であ ***

有利に進展し諸様は常州又無動西

北支政權と經濟工作。最近北東的國門下

ればなられ、漁業強約問題も今のところさして問題になって居ら

権約の嫉疑は今日率ろ選ぎに失する觀がある、適當の機會にその

らが、今の所子の時機をよく考へねばなられ、九ケ國

改託をなずことが最も必要である、東洋の問題は東洋人の手では

併勢運営、備原理宮、桃山即腰、熱田禅宮などに急

い、山東省は自然にこちらの手に入るのを持つてゆるものと思

若干その態度を築へて來た節もあるやうだ、ソ朝との関係は明春 よれば相前の武器弱漢を供給してるるやうだが長近はイギリスも もそのやうな情感は示されて居られ、英國の態度について情報に

の理像だが、彼は最近自己の指の形を決めればならないだった。那介石は密初から今後のもう、那介石は密初から今後のもった。これは私の理像だが、彼は最近自己の指

知 関内別盟に解除するやうに関心 したやらだところが日女間の突 り 最近 に大きた親洋を主した の 見趣 に大きた親洋を主した も 日本がこれ様までに発図ー が出た状況であって深るとは かれてしたがのった。そこに親 電さればならぬが、皮部も赤成 見上でく日本を肝臓能する必要 がある。而して者上标本日本が 女那と朝和を抗動する場合との 相手はやはり前介石技と思つて ある【智賞は川恩大復】

> そうやくか無常代表し、部にはすでにかずかたが、公里なの観察が遵行的に行はれぬ別の一段課を修つかの如き観が覚はれるが一方をそうの事様はづれに自居自然になった。 は自力更生にあるのみと極めて悲觀的な論説を掲げてゐるが、1才玄那年際の今面的職後とこのブラツセル会議の失願を耳にした順見は

ル會議の悲報は支那朝野に對して異常の衝動を現へ言論界もこの會議の失敗を取扱ひ維を揃へて支那の生きる道

【上海11十六日同盟】観聴鉤以下三名の代妻を送つて支那が絶大の揶揄をかけてゐた九國條約曾顯は唯二十五日を以て無聊保育の終末を見たので、この

般民衆の精神的動搖深刻

に異常な衝動

センチメンタル派は長期短抗を依然所持。てゐるが一般國民の領해的動物は相當深刻なるものがある

した蔣

中旬になした鏧明に述べたことが事實上判明した時であらう

ろ改めて軽明の必要はないと思ふ、更に再整明をなす時は八月 再発明 是那指目に備へる帝國の方針については今のとデるといふのが繁年来の党國の國語となってゐる、だから……

> むに足らざるを知つて機々制用 第二類れる職は既に最後の要派 金に扱か占領するところとなり 上海戰況發表 北・南の各地は

相、信念を語る

戦勝祈願のためきのふ四下

中の部隊は今早期長興及びその南一岸の南京街路を北上、江路、浙江省 ☆時破壊= (一) 太洞南方に作機 | なだらかな友山路を纏つて太湖西

方八里)方面の概を追駆しつくある分水能の確保は今至目眶に迫つ

近においては退却中の地上部隊及

長興占領部隊

[東京並語] 大本營海軍報道部二十六日午後五時三十分發表——

が減したわが那隊の一部は城隣接【上海二十六日同盟】是興申禄を

神崎部隊機

さらに猛進撃

【天津廿六日本社特電】 つて太原平野の一般に大阪を際し

敵機と空中戦 | た朱徳の第八路軍はわが猛撃と遠一郎/底勢を崩て直して目下延安を|| 四鉛山軍と戦力して孤盟に抵抗し、映西省に警頭を打つて渡走したが

フラツセルよりの悲報

G17 太湖北方に 於ける 作戦又、前進し〇〇に向つて遊戦しつ、あが近方を占領し綴いて敵を追離中、境に向つて驀進を譲行更に一部は り江蘇、浙江、安徽三省大境にあ | 薬に営ると共に | 部は三州山殿の

となれり、北海た国際でもはた支部方面機能後端面で偏々を関すより、地名で替なご諸般の準備を急ぎ、更にその陣容を一新することが顕光船は逐次一旦軍港に歸投し 所要の敷備に着手し 人員の乃今次上海方面における 陸上作戦の一大進展を機として そのろ今次上海方面における 陸上作戦の一大進展を機として そのかり鑑賞素・永野大將麾下の聯合艦隊は對支作戦に従事中のとこれの第分 士一同さきに優遇なる。動器を拝し恐怖を渡し、形上今後の権勢に対應して田師の目的首後に 聖旨に別ひ奉らんことを期しつくあり

頃丹陽、枫江方面を佩塔中、丹陽一戦の決之を発走せしめ無事任務を 上雲に放て南京方面から脚来せる「芸成して開題した 水德、延安に集結

民戦線協の互頭の特者を報覧すべ には軍政大學を急殺して恩及に人 、交渉中であり、共産軍の脳化に

セロナ名著演事 注目される

【東京電話】二十六日の開議でス

與領事免官

セロナ帝

ン関在バルセロナ名野領市の

如く決定した、方は輩

本社見學

近く米臨議に上程中立法改正決議案 米臨議に上程

和新上院議員ヘンリー・ロッチ る。最は各方面にあがつ ・シニ十五日同盟】アメ 五日近く中立供にたけ マサツツセツツ州意田

米戰三勅令公布 が見構を制限する決議 去る七十二議會を通 とかりましたあまりに不規則を選挙があるのでデノーリーとは完全に、不服職、職員職、ヒステリー・歴史を定職にあったべに、お談か、関すしたが機能を関する。 しんかい はいはい はいばい はいばい はいばい はいばい はいじょう はいかい しょうしょう しょうしゃ しゃく しゃくりん しょうしゃく しゃくりん しゅう しゃくり しゃくりん しゃく

ひする事は私の職務上の重抄であり事件でありますから何至誠には対解メウランと現の職務機分をお祀らせして帰庭かによって明られております。一番の事がであり事件でありますから何至誠をお祀らせして帰庭かによって

でれることになった 和を以て公布十二月 1日:り施げ

虎林線營業開始

作」開係の三颗合は二十七月宣

こと『米穀の應急指置に関する

健康相談部主任 敬 神 福 徳 會

依り飛上来る。コナ九日ロンドンを一出席するところから見てこの登録

談に田席でるサイモン大議大臣が | 虎林間) は

別が二重要軽減たる鬼林郷(配山

上问题] 東南國塔方面

この機建設工事完成し

30々は塊局の手により選携で乗むとができないし、十二月一日より満たいで催售機関政府は電路にこれが

とに決定競技された

米大使談

これいてに動局関係政局に衝撃を | け間壁が譲渡されるものでないか

軍需工場における勞働 力維持増進の指導方針

粒は室内の空氣を淨化し御火鉢へ梅あ雷の

樂園百花の精を漂はせます

梅る 香 (量送錄目)

原 居 堂 原都市寺町姉小路(張考京都七) 一外に上品各種 ー 外に上品各種 ー

海軍航空防雪防寒靴

付出景選和(券店業前四十二世曾割四千三等一)の監視 0

上間ゴムナシ



でつめかつき』にて入城。 『總會別席をかねて二十 『応氏(日本石油純長)

人

別上、萬金を期すべ







特質七回 特質七回 要 上宅 皮 付表票上ボツタス革 受上三皮徳良か 選上ニックス本 選上ニックス本 特價

ものかたあ▲と二官

▲いや妙な様といふ

一會つた東拓独業社

コする▲京城に來て

▲はて見たやうなが

くみると、あにはか

北が少尉の ちゃないか

千葉商會 ◎ 特製改造

育せ三十年といる長期和に真して

【尋原電話】 権太龍野疫部では文 | 十度の概を以て調する日経関境の | して之を脅迫し事實無棋の選及を | 昨人道的不法行為を輸出するに 蘇聯の不法に樺太廳激憤す

れ に一定する情景したが・ベ・ウが いた せしめでゐる矢先、*ハ在世邦人 ア

つたため、極度に関係

を殺へて陳富に磐田しの田川さんは今、せつ 歌も若かつたので元気とく殺はれた、との事 いないるといって大 「食質は田樹さん」



調(東)(東)(東)(東) ガウ野

側重なる賛成を行はしめ 機関をして重大なる配信 地関をして重大なる配信

佐

方を接触する彼等の策

アン短期療法公開で学博士秘法

地際し北線五十度日蘇園 る決意をもつて隠むべし

り、更に萬一の場合に

数然たる態度を示して

に光る献金。

これぞ銃後の奉公

廿二日より卅日迄一常子屋を一京城日報社

北支戦線スケツチ

23

輸出は頗る好調

半島貿易躍進の

上作方城代理店職用

天德鑛泉移入元

實際的看護の秘訣

酒類、牛皮等の

概説を即かせつつ間自今〇〇地行

一の明長炎駅に乗出し、郷に並修者「焼山艦関密によるす」年末現在の「本府は発展により本府は各部原業」山県は一大飛掘を見てゐる、本府

年九、十の順月に於て一千八百四二地方に過ぎたかったが、本の二地方に過ぎたかったが、本の二地方に過ぎたかったが、本の二地方に過ぎたかったが、本の二地方に過ぎたから、

しその仕向地も亦美米を初め縮 ルー等十三ケ関に織し前年針比 ルー等十三ケ関に織し前年針比

戦地の上空を飛ぶ(其一)戦行機上から最地を見る事は日本を競り時からの

く晴れて自襲が手切れ飛び群岛が駆逐す弧を自く日に光らせつつ飛んであるのが見るのも秋らしい場を躊躇、やがて概首を南に向け五〇〇米の高度を保ちつつ一路粃糠級の上空を飛んで行く、空ぼよ

日本は職事によって躍進し、 「殿室に於て熊鉾中である、」された中小商工業の互助教館に为「徐諒されてゐる

呈運を扶翼し奉る

入野政務總監訓示

遺族救護

說

待室の工業組合令

内公布は不可能

来半度に於て漸く質現されるわけ てゐる鮮內諸工業の强力な結構も

邦人雄々し

、月以來の入國者八千五百名

でてゐる從つて同法令によって加茶ではは明年となるはずで一方而崇組合

しかして同案は年内中に議了法制一論、目下内鮮間に相剋狀態を呈 別に理解するはずであるが、

公布 像に同業組合令によって統制され

商組令はなは各局間で協議

中央無盡增築

私投爭術戰智所 天理學圖 一一五一回 京城府古市町一五

六十七錢也二千百六十四

師る消極的である、即ち同省は政 總行府と中央の聯絡を題化す

皇軍

進む處

野みやびにツルテラをなんの大喜び

下に敵なし

誠鶴の優秀

大下に冠たり

北の二萬子六百二十餘名を無面

夕刊後の市况

殖銀米資增加

たつてある

皇軍尉門金 (隣名的敬) 十一月廿五日取扱

払務省 ぎ消極的

京城法部取門學校総論大合は、 十七日午後八時半から本証後援の

けふ來靑閣で

京城法專の 辯論大會

の熱欲が離けれるはずである、敵



月以降十月末までの移田牛棚敷

鮮内畜牛の移出

能力は豆粕日産一高枚である

N. NAMBAMI. MAMBAMI. MAMBAMI.

血强壯副從多古

丸 善製 圖 用インキ

橋頭に信



母 超 世 計 金 三 十 四 四 二 十 五

累計金七萬二百三十



年来金融に激しつつあることは世界が隣の出産率が、このコ、三 「簡補法目さるペキ問題であら 悪い意味にも頭硫酸差だった 消すより起さぬご用心

てはふまいが、

5八月火した時は、水をそくいで!

作立ってきたら林特を少し強入れ

薄壁の沿でさつと指でてをきます 大根、単売もそれんく原始りにし

私上病院 於

「災の数は五月から十月までの」もので有名です。大正では馴束の 留、大事と並ご揺されま 假然火事が増加し

大翼災はまだ記憶に新しいところ 治電が必要なのです。 起つたら忽ち大事に及ぶを歌があ 、火 災種間の御出意まで

で起るだけにその機能も地震以上

|新機のお洋服について、1||三倫||らの男子服は非常時の反映で

スポーツ味

について御注意

ビス

産を従ってゐた茶茶紙が下火にな

これに代つて紙と鼠系統が流

火事は地震よりも基々とし

然に防げるのですから、十一月か

生十と、日本武雄か設何

くの火事がありました。明暦の大火・目黒行人収や 夜毎に警戒!殘火の始末

を揶揄で拭つたのに引火したとい 明仮以後には四十四年の新吉原 の過突があります の主婦は、家人に對し、火の用心 りは起さぬことが第一で、各家庭 てまいりましたが、火事は消すよ 近年は各地の消防設備も完備し

ずらにします。油銀に火が入つた

で押へつけて火の組るな際のない は、火緑の灰をかけるか又は消風

段々高して本針の吃奇者とたつ

るますが一般試みる價値あっちの とか、吃音矯正器等が務唆されて

とめること、歴の上に失火した時

の生品でよく、小型を主体に 群らへ方 牛肉は上容品でない

らいたといても圧襲りで結構です 味しい胡麻味噌を押らへ、つけ乍 をつけて意込んでもよく別にお美

については充分の出意を喚起し脚 時は、短子野菜を際山投入れて加



惜しかった六六歩

先手方攻撃開始の三五步

ーニングへ出し、概に包んだナラ 率流々々の扱いだ洋服は必ずクリ

へはさんで大きい紙に包んでしま メリンを三四筒洋服のたくんだ間 の著人は盛へた方がよいのです。

ウラルゴールとは一間一答で示した如く、無と色素を化合した

就

と價格

大州-八五二 一五 定 包回包包包包

二<u>//</u> 價 十十十

国国建筑建

O円七五

長である。しかしてウラルゴールの名葉は、今や全国的に接大さ 伝は関る側留安全、携帯にも関る便利である。

一、慢性、或は再發の患者には、

しかしてウラルゴール獨特の效果と使用法は次の如くである。

ず光つて、毎日汚れないも には、必ず難と同じく二足

XX外出から儲つたら、必

手 主

本格的の效果と、安全なる用法は、實にウラルゴールの最大時 一、惡性か或は叛年、十数年の慢性患者には、短管。中陸の大

ぎに長笠十本人を使用されたし。

代金別換にても減ちに送附す。(前金能な代金別換にても減ちに送附す。)が、1ト端語部にあり。毎年の概度。デバート端語部にあり。明治を乞ふ。

(文は選科管証責権)のれば

は中衛がは投密と必ず

OOEIII 一百百00

東京市日本橋區本町

體一足の難下がどれだけ保 でない良質の純毛配下で、 かはいを利かせますが、一

地、芯といった耐層車も一緒に合きすが、普通仕立代にはボタン、高

洋服一着の

低度さんがあつて特別様くしてく

六七年もつこともありますが、 **拠四五年位で、もち方によつては**

仕立直しに

ヶ月から 1ヶ月半は大丈夫

つて、もしも濡れたまとは

菜も一寸位にして皿に揃へてをき

ニング家として上品に結び

、生める様に計らずことを高度

北國際精製度に一特を強 に駆まつて阴酸さ













必治すべき好個の参考資料 専門醫家と一般臨床家とが

U, 1014



男子の淋疾は尿道内に潜在する淋菌を徹底的に 撲滅する必要がある。しかし之に對する從來の

しかし水溶液では直ちに外部

へ流出するので、

頭痛や

めまひの時

治療法は一長一短あり從つて淋疾は容易に全治 答

過ぎない。故に内服薬のみにては粘膜深層に潜 過させても、其の作用は尿道を通過する瞬間に 内服築を服用し、薬分を尿と共に、尿道内を通 在する淋菌を撲滅する邪は困難である。 しからば洗滌、注入樂は?

|要的療法はありませぬ、只之れが て話了時の不安慰方式恐怖心を種 精正法としては、心理應用に使つ

いへないので、係めに野魔的には

は機構な。意味に、於ては規則とは、一がある調で無く、能つて原単上で

習慣性乃至は體解とでもいふべき

底不可能である。尙ほ沈滌、注入等は水脈力に 必要ありとされてゐる。しかし、その質行は到 にて淋疾を全治せんとすれば、一日七八回行系 故に、たとへ效果ある洗滌、注入薬にても、之 出し、其の殺菌作用は、一回僅かに鍛分である 之等は水溶液であるために、直ちに尿道外へ流

なる療法を撰ぶべきか。 **鄂にては根本的全治は困難なりとすれば、**

在する淋菌を撲滅し得るもの、第二に安全にて 危險と副作用なきものを條件とする。

ができ、しかも用法が簡單安全で専門醫でなく

とも使用できるとすれば、質に驚くべきもので て尿道内で敷時間、殺菌深達作用を持續する事

たいら、感嘆の外ない。しか

質現不可能の事ではないか。

活力を與へますので崩壊 活力を與へますので崩壊 を激しく使。症代人には を必必要では、症代人には

貴説の如く、銀と色素を化合し

(圏は前回八四三銀迄の層面

銀劑である。從つて淋疾の薬品は銀を主劑とす 淋菌に對し最も殺菌力が强大なのは何か。

しからば、その銀劑を粘膜に深遠せしむる方法

とは、この最高理想を真に其體化したものである。ウラルゴール(日、英、米、佛、製法特許)最近、淋疾治療界に非常な勢で名聲を高めてる

各種店にあり

つて、初感染は勿論の事、

敷年、十數年の慢性

快心の結果を得た

重痛

精神憂欝頭の疲れ 齒の痛み

銀と色素の化合に成功すれば、右の方法にても 内へ注入すれば理想的か。 では銀と色素を化合し、之を水溶液として尿道銀に色素を化合すべしとは最新の學說である。

が創製された事は、専門醫及び専門外の醫家、

首と稱すべきであ

際

製 薬 肵

他の注入劑に止し、

勿論、粉末其まいでは尿道内 道内に完全に入れるのは困難ではないか。 成る程、良い方がである。しかし其の粉末を尿 し、密塞した粉末は、尿道内の分泌液のため て尿道精膜の微細の部分に Lまで平等に分布衙 理弾力によつて、却し、之を尿道へ挿入 である。 あるか。 へ入れる事は到底 次の放尿時まで 銀の殺菌作用と

神經が

イラつく時

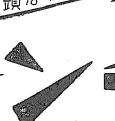
其の管中に粉末を充塡し 敷もなく、前後の し、之を粉末とし れくば極めて簡単 て尿道内へ入れ、 快明 な 頭

其の管を尿道へ挿入する方法

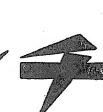
之 を尿道へ入れ→ば極めて容易である。

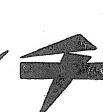
て、直ちに溶解す

クリーム性の液をスポイトに

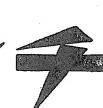






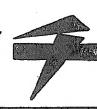












砂利採取の

想活、想題して得た二回を合せて 進工事場に赴き砂利採取をなし三

飲み助狂言强盗

來まして上陸當時最も不自由な思

「首を扼笑するかのように地域機能」江戸の休は基階で毎月人のひま「町で用ドノと伸よく「清州」最近、清州銀管内に整邦」不自由せ口ことになりましたので「不恵騰な現象です。

足を切断した元消防手沈在吉氏に

歴に引込んだきりで廿四日午後二 人の要金英子(き)と認めたが、部

共販すでに千四百萬斤突破

總量二千五百萬斤に達せん

【延吉】治外法権の全面的撤賦に

間島省內本府

十二年以来間島に巨大な足跡を弾 多校で整大に撃行、これで明治四

した朝鮮總管府の歴史の春を閉づ

施設の廢廳式

近上下5名に近す今別祭長と44年 就 食坪地方の耕作者はホクホク総祭班氏はか八十三名が中央統領 間に選すべく間所管内の忠州、欧

乏人は禹歳

治廢さ共に滿洲の取締り受け

るともうすつかり流行が型一切り、ここではませいの一年前のが激しく一ケ年の流質知識一個後数を設置五十世を刈り取っ 流質期間は一ケ年

脱納した「寛護は生徒の砂利投収

「正川」専覧局忠州田服所の養婦

入する時の維路は物様く、生やさ

で一番楽しいのは通信を受けると

で輸成以來の色々の變つた面白い

接曾總會

興府设金町一丁目演開返館に物思【成興】廿三日午後七時十五分成

せい、これも戦後生活の一風景で す、氷い曜中生活で色無も洒無も

馬ドノご仲よく精進致居候

田内君の陣中便り

百六十七萬圓

忠州の葉煙

三浬の防 樂堤内は大鹽田に利用開拓 * 鎭南浦の一石二鳥案

謝として傾所能謝。めに船主に悪用された態みがある」として又對支費易。であつて老朽船の修織貨機ぎのた 松四十日間の流水 一部にとつて、前記二千屯級老朽一 ことは大方の認めるところである

へるとき、それは正に鬼に金崎で

たが、今回さた前記二条の後の家 への防氷原繁造業等、民間の頭の

江口貨域面増年齢の突温から導島

以照合せ總會は廿四日午後一時中

た結果食頭には少分式「中であったがこの種目的通り企業」 くべき事實 咸興府内の唐辛粉は

漁夫達の赤誠

朝鮮製鋼所

路で米坪里金明塔に握行された

年に一、二浬宛繼續で築堤

提唱者は間崎大佐

上、外から押寄せる郊水群は完全にこ ("ま)が去る十八日午後六時頃间郷 照明なものである上に、類成一種セに盟路に襲はれて自米大斗を

で南方水路より外海に一騒撃されたと時間の申告をした同一げられた

皆がみな不正着色



鮮製納所ではこの程工本完成した

水原金組評議會

儘ならぬは浮世

若い二人毒をあふる

キンネマと 演劇

七十九那除山田市佐住老山田中 佐韓演 局値の自由賣買 共販の趣旨徹せず

(平壌) 平単道内の標花共販は價 (鏡五風) 以上の高能で盛んに自由 平南取締りに大童

北部で有技術により左の諸氏が一

株画助、島田金四郎、権模雑! 株画助、島田金四郎、権模雑!

仁川珠算競技

砲鐵竹

都京)すで和日春小なかったあしよだ

事度が判明し、拘留十五日告、諸州署で取調べの結果、 に所持金を駆取逃走した旨力

會頭は小倉氏

参える計一英国の概念を計器し成 局に手交し無限機変形態機構変形 一方法として邢氏一同一人寄りす 日上道、邢民の熱臓の結晶を消費

7個原並に就後國民の漢神楽行の 金が継ぎつたので威和守は二十二 機利 星淡州市局では時間選出 民一人賞り十銭短令計一萬國の観

海軍機の資金にご

廿二日赤誠を披瀝

小磯軍司令官 忠州を視察

月六日の愛國日から全生徒に家庭

5 しよぶとくよは耐速のこ・んやす、兄ね』

開にか数名を臨べて、廿三日午 到席裡に松井邑長から邑民の 居の献起を促し、独立後記念。得た趣敬二十二四七丁九銭を国防 全部守の案内で部隊

庭

民

内鮮なかよく

羅南中學校の兩君

【雑酉】内鮮仲良く光輝ある陸軍一一時から距談員會を開催、左の諸 試験にいづれも堂々たる成職 非常時型官吏』の息

民族協和美談募集

十九日正午落成式を整大に銀行、販製所けこの穏峻工したので歩る「氷闸」かねて新築中の丹陽標草 煙草販豆所落成

ず、次第に腹る場合の

一切なことが呼ばれて、安 の治療に、安 の治療に、安

ギーが消費されるためであ、線に、結長版学・量よりもなほ多くのエ、線に、結長版

いのは蛋白質の代謝で

と 代謝作用を起すか 代、特別の程核資産素が生贄に吸収

の理由に基く

胃の痛みは

急性肺炎に

濕性肋膜炎素 と併發 田とき

一致りました。しかしおして、 重視のいて 巻りま が上るし、特も思くなまだいいのですが、そ いのです。通じがない しました。注解のため 正知づいて 参りま

でした。

る程でした。しかし私は「銃艦」にならない人はあるまいと思へ

よとの事、すぐ實行してみまし、 があったのです。その時の意び、 それから万部には特に「一般就」 それから万部には特に「一般就」 わかもと」がよいといふことが、 後とでも問題する、全機近しと の心臓を受けた鍵でした。 The Control of the Control of the Paris

然が遊んで禁笑の充質をみる様によつて水洋に恢復に赴き、特に食 なります。 と云つて 良欲心 芸の別名ある成分

慶噂する病人がよくありますが高熱の苦しみもあつて、康上に

と疑てゐなければならない

肋膜炎・微々の難い時は、超さ

てあるがのことは非変へたちょう に地へられますが、これも可けません。 記様を辞納のある間はの試 が第一です。 さらししの試を保つ でのとと、 連動不足から全然も終

帝敬に、四腸の側部をさかんに丁安酢を保つてゐて、しかも食感を壊ることが必要ですから、そこで 築養物を充分に

すこの型は、近代連単上最大の競すこの型は「鍵盤やからもつとも推集されるのは「建盤やからと3 でありま 酸に、レビターNK脱等の見と云はれる嬰用像生物ペープエ の方法が隣しられなければなりま

藥用菌を複合

万家と

●多いのは肋膜炎と肺炎

で出て、一般の容物がであります

り診断法

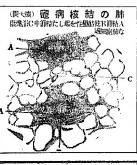
んが、膀胱が柳端されて、安藤から夢であります。肺炎は「及びこれます。 で歌から寒ら喉みは喉ど、物であります。肺炎は「及びこれます。 かっろいらゆうでれませんが、「腹が尾されます。 があるが、上のでは、 しょうだいが、 しょうだいがく しょうしょうしょう しょうしょう 三十八度以上の高熱が一時々多少の解みは胸に懸するもの

結核思省は

Æ. 食これを 防 Þ ζ. 3 療養心得 7

、次第に織てきます。 登一準所の 分解 まで 起し、駆者 は「はよくこの目的に適合した興奮で、次第に織てきます。 登 準残不良となり場合した、駆者 は「はよくこの目的に適合した興奮で、次第の人は三「在帝自分の弁論内にある養自質や」んのエー語彙われて過剰である。

とは、登録も正統不振も 現在・結構とよくますが、と、に謝意 であります。 小撮を促進し、企総不振。抗力が残べて





れて居るからです。この効果を學 **間上「細胞原形質は活作用」と云**

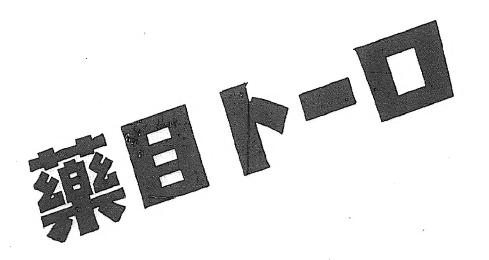
って、結構の病原治療の第一に見

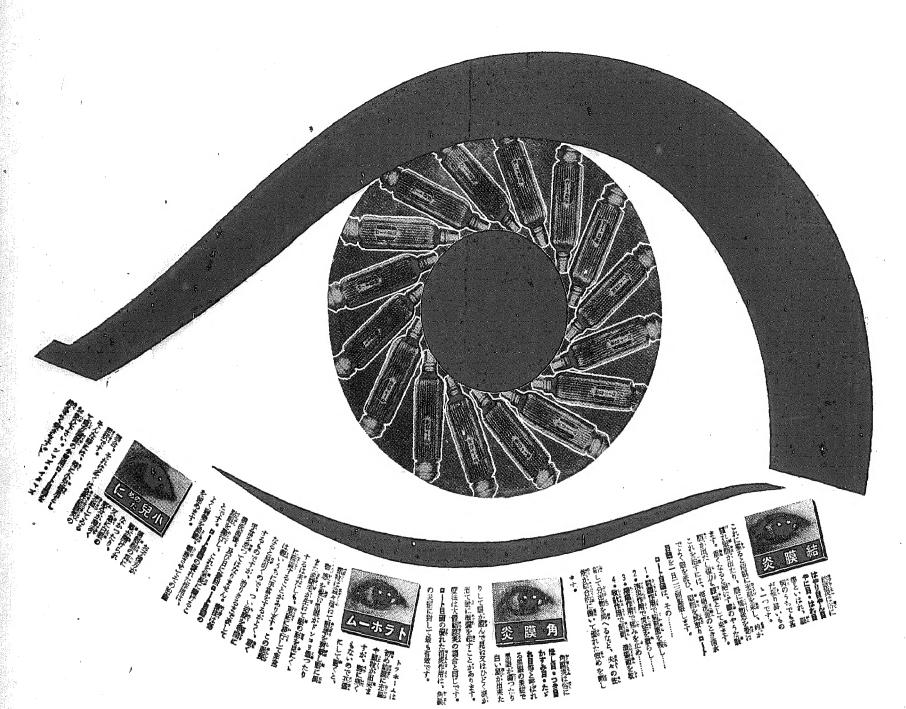
四月恒初、降配のために企感

るべきものであります。 更に本館中には、グリコキニン

すので、特技性の門陽路駅も之に て胃腸を根本から丈夫にする酵素 や各種ピタミンが含まれてるで、

右の14個やからとは上十五 日分1四ペナが、八十三日分五 四の旅行で東京市芝の館、わか。 もと本願が後とも見の会(標名 東京一七〇〇巻)の記載で、全層







三良藥 民 安 田 山

(で) お見用二十個 (数) 用 五十個 (本) 用 五十個

□ ート目薬の點眼容器

第二 に別機嫌配の即動成で一碗の御外もまりま
第三 に別機嫌配の即動成で一碗の御外もまりま
第三 に別機が配です。 耐もキャッテぶあるか

我皇軍は北支に上海に紫翼又激戰、勇士の は日夜の別なき過激な使用により多くは血 に炎症を起して赤く血走つてゐるでせう たの上蒙古沙漠から吹炸くる黄砂や歌座の なの上歌古沙漠から吹炸くる黄砂や歌座の が水で洗面の止むなき事なごに因つて角膜炎 下水で洗面の止むなき事なごに因つて角膜炎 トラホーム等の服病に罹り易く、一旦眼を歌い した時は中々養生の逸もありません でした時は中々養生の逸もありません でした時は中々養生の逸もありません でした時は中々養生の逸もありません でした時は中々養生の逸もありません でした時は中々養生の逸もありません でのロート目薬の一場こそは真に適切なる胎 物であります。

の眼を護りませう

慰的袋に

目禁をし。

龍山の聯隊に聲なくも安置

看福和

十十月十月七月七月

, 杏に配り特に専園にて掲載す 競挙料金は前納の事情記雑優 観光は一回毎に基十

京司金の

うり

用意が肝要。 痼疾のある方は早

賞家 はと目がり共に良い

独生能アニート - 嬰思増より一

思化せしめます。 外氣は症状を更に

運

資出 经原理的

4 名 在

後願の憂ひなかれ、と

夫を思へば

支那童子軍の中に

本語を話す少年

強制徴發を告白通譯に使役

京城府内水電館は府外電話展域と

回線を増す

なる事業の歴史とくり増しなる。 古毛糸の再生法

養達しつよある水産派の港

大田牛市場

二五版五・〇〇

田邊座店

中居さん。終名田社

まし、根 共に思示のとします。 とし、 大 は は な に 思示の とこす かに 信み とこれ は まら の に れ は まら の とこれ

首家 新菜二階如四界町人

來月から開市

流行着が作れる!!

7

竹内アパート新発展

▲奥様御自身の着物も…… ▲お子様の海眼も……… ▲お子様の洋眼も……… ▲お子様の洋眼も………

御川のガは 関係情報を見なる

この感心な家持上手の奥様は

一と脆いた

しかも、この立場などでは、一切のもさつばりした新調のやしかも、この立場な上呼に行着が全なたらアッと務くばかり!! 一覧たらアッと務くばかり!! 一覧なりなりないで、一家中が新調のやうな溶いでは、一家中が新調のやしから、

家 具、加熱的位子桌子對和 上側子 東坡後衛門三十日 上側子 東坡後衛門三十日 大側子 東坡後衛門三十日 大側子 東衛原列岸側整衛製 大側子 東衛原列岸側整衛製

特別窜攻

非結女給募集

主婦之友。十二月號の大重審附錄 於物 綠 观 懷 集

・ 1 くとも、誰方でも信易には、どんなでも立派な新調の流行着にまならせまる種も發送!! これさへ渡めば誰できつと家持上手と賞められます!! 按答係婦人數名 二十五歲ョリ三十歲。 二十五歲ョリ三十歲。 一十五歲ョリ三十歲。 一十五歲ョリ三十歲。 一十五歲ョリ三十歲。 一十五歲ョリ三十歲。 一十五歲ョリ三十歲。 一十五歲ョリ三十歲。 一十五歲ョリ三十歲。

主婦之友。 十二月號

大見得 六十銭!日本の主婦之友社の自る!早く、早く!

大阪 淀 Щ 製 作 所 製

ナショナル・ サン ï 术

阿时 → 六时ベルト掛入庫 秋 東西 行機 機 部 等 7

國境警官の家族へ 幾羅具の女主人から慰問金

丁・メハソン氏は、かつて昭和

景品代が約四萬圓 ……はりきる各商店や百貨店 戦時は戦時で⇒戦捷氣分

檢擧より防犯 京畿道警察部が萬全の網を張り 迫る歳末に大警戒陣

各種各様の犯罪が積出し、府内各つて入り込み多額の協議事件其他 著の防犯陣を開ましてゐるが、

名譽の戦死者

を突き破っての場が、続ちに黄油 ・ 一気に離除、漁職した ・ 一気に離除、漁職した ・ 一気に離除、漁職した ・ もあり、薄なども多い、汁れど品 ・ もあり、薄なども多い、汁れど品 ・ もあり、薄なども多い、汁れど品 しのぐ元氣で青竹を景にしながら、絡がとれず、存足たつてします。一松江、楽遊、游典の一緒は地味的

ふかし芋で勇氣凛然たる兵士

上海にて後藤特派員

日中建攻を接けて、いざ消費と

二ノ一尹正歴氏方を親ひコロムビ路署では引続され月世三日清進町 流検事局送り 鉄町のは ボータブル強 戦策 夏

の横で、同じ無持ちで一つのテ

全焼す

田火、折楪の郷風に踊られ職郷す分ころ加井作光明陽剛朝神経上り

元柳原外科

で是、財助三ノ九〇津村や住人 時間との即方には翌旬の指導住機 のサンベイスを物地和

業事望有

| 同九時二〇分(岐)知象道理| 同九時二〇分(岐)知象道理 同七時三分〈東〉 思礎変活動座 が蘇生の思ひをするのだ。その感』回六時五五分(東)カレントト 栗起信義」 護話(四) 第一放送 同一時 五分 家庭の時間 あすのきいもの 獨特語 人名和丈坊因本 段八、因上井 ² 8 局 解 說 歌風」といふながありますのとこ 如く心行である。それで我園民間 日の頭や整彩に近てのない。それで我園民間では、護 降りつか郷のかかれた異様を歌響にてくれないからそ 節に記さぬ血に位きぬして必要を影響にしてくれないからそ 節に記さぬ血に位きぬ に之を見たいのは欧米各個人は自一る所への道案内に群しい項前があ 法権課といふお紙の中に「化数 お經の中から 高部道平 あせてん、ことで充分にお休みなお妹を忽然とそこに現はして「さ 所が、途中で曾が据れてしまつてつて、その人々を奉ゐて田かけた してゐる人達がある。その聲のあに襞があつた。そこに行からと志 「もう行くのは止めて引き返し 图 图 岡田嘉子外 やさしい小父さん けはやしてつえついて 紀で居ろ」と

發ってった 僕の兄さん 使にもならぬ徳もあら 黑澤貞子 民 順作問 創立 明治三十 かり は淑女になく 寒風お肌を荒す てはならな

朝鲜汽船出帆灰告 〇北 蝉 航 吹 安州 丸 元山 古日 雄基十日安州 丸 飛岸十日 衛洋二日 沿岸郵船出帆 **数学部的** 期鲜郵船定期出航 丸 十一月十六日 摂剤、東京 原内。 液水、 主要聯三於テ船車運路行口所連絡等日頭

心尼雪川語語医 | 含名介北尼等汽船が代連店| |三脚座候川橋を御利用額上|| |九 | 十一月廿二日 | 廿三日 |

案內所

中域二中井 安東大和福 一つパインコーロー 総金山商船組

THE OF

. Duin

35セン・55セン・15セン

釜山出帆 九州郵船出帲贤告

九州郵船鉄出張所

飲み易い粉末小児百日咳に

京東浦本 時南原近大計台

HECHIMA CREAM

大 代源西野口商會 會

大連直行 阿波共同汽船作出机

李海—大型里 大型里、大淘芝、大叫 大阪南北土山

政 [103]

略亞海洋 計畫系廣告